

《 参加者
募集中 》

希少種保全を考える体験型講座

オオウメガサソウが育つ森づくり

国営ひたち海浜公園では、11月22日(日)に「みんなで学んで守ろう自然観察隊～オオウメガサソウが育つ森づくり～」を開催します。‘オオウメガサソウ’は、環境省レッドデータブックで準絶滅危惧に指定されている希少な植物。生態は未知の部分が多く、当公園では「里山パートナー」とともに調査活動を行っています。本イベントでは、普段立ち入ることのできない自生地のワークショップを通して、オオウメガサソウの生育に適した環境と、その保全について考えます。



オオウメガサソウ (2020年6月7日撮影)

◆生育に適した環境を整えます

ひたちなか自然の森は、里山林として利用されることにより、オオウメガサソウの生育環境が保たれてきました。現在は、里山として利用されなくなったことに加え、多くのアカマツが松くい虫の被害を受け枯れてしまったため、環境が変化してきてしまっています。そこで、オオウメガサソウの良好な生育環境を守るため、実生松の間引きや落ち葉掻きなど、里山の管理作業を行います。

開催日：11月22日(日) 時間：10:30～12:00 場所：ひたちなか自然の森 雨天時：中止
 申込：事前申込 (TEL: 029-265-9001) 集合：西口広場休憩所 定員：10名
 参加費：無料 (別途入園料が必要) 協力：里山パートナー



実生松の間引き (2019年10月17日撮影)

◆森の妖精「オオウメガサソウ」

オオウメガサソウは、ツツジ科ウメガサソウ属の常緑低木で高さは10～15cm。北半球の冷温帯から亜寒帯を中心に分布し、日本では、北海道、青森県、岩手県および本公園など、ごく限られた場所に自生。茨城県レッドデータブックでは絶滅危惧ⅠA類、環境省レッドデータブックでは準絶滅危惧に指定されており、本公園が日本の自生南限地とされています。

◆「里山パートナー」の活動

「里山パートナー」は、オオウメガサソウの保全を目的に活動する公園ボランティアです。生育地の調査や、里山林の管理作業のほか、オオウメガサソウが開花する6月上旬～中旬頃には、ガイドツアーも開催しています。



ガイドツアーの様子 (2019年6月9日撮影)

Information

みはらしの丘のコキアとコスモスは
11/3(火・祝)をもって終了しました。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星
 TEL: 029-265-9001 FAX: 029-265-9339
 〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp>